

令和7年度

災害発生時の市町村の対応

近年、激甚化・頻発化している災害に対応するため、市町村の防災担当等職員は、危機管理能力の更なる強化を図ることが重要となります。

この研修では、事例や演習を通じ、災害時の初動対応から復旧・復興に至るまで、トップの的確な判断をサポートするために必要な知識やノウハウを習得し、可能な限り迅速かつ円滑に対応することができる能力の養成を目指します。

研修のポイント

- 災害時対応にかかる制度的な枠組みを理解する
- 災害対策本部の円滑な運営方法や受援体制の整備を学ぶ
- 災害時に活用できる支援の仕組みや様々な団体との連携を学ぶ
- 実際の市町村の対応から課題と成果を学ぶ
- 災害発生時の市町村の対応を円滑に進めるための実践力を養う

開催要領

日 程

令和8年1月26日(月)～1月30日(金) (5日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市町村の防災担当等の職員

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人

募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修)

※外泊はできません。

経 費

21,350円

左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和7年11月21日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講決定受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。
受講決定通知とともに課題図書(購入費用は研修経費に含む。)をお送りしますので、一読のうえ当日お持ちください。

そ の 他

受講決定後のキャンセルにつきましては、受講決定通知とともに送りする課題図書の経費(実費)を申し受けます。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和8年

1月
26日(月)

11:00～ 入寮受付・昼食

12:30～ 開講・オリエンテーション

13:00～15:35

講義 自治体災害対策に求められること

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授／特定非営利活動法人(認定NPO法人)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 理事 阪本 真由美 氏
災害発生時、市町村職員に求められることについて、平時から取り組んでおくべきポイントも踏まえご講義いただきます。

15:50～17:20

事例紹介 能登半島地震から学ぶ

石川県能登町総務課危機管理室 室長 道下 政利 氏

コーディネーター:兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授／特定非営利活動法人(認定NPO法人)

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 理事 阪本 真由美 氏

能登半島地震の初動期における現場での動きや災害対応として良かった点、反省すべき点、現在の状況等をお話しいただきます。

17:45～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25～10:35

講義 TEC-FORCEによる被災自治体支援

国土交通省水管理・国土保全局防災課 災害対策室 防災企画係長 梶原 徹 氏
大規模災害への備えとして、迅速に支援が行えるよう創設されているテックフォースの活動など、災害発生時の対応と支援についてご紹介いただきます。

10:50～11:50

講義 大規模災害時の地方公共団体からの応援職員の派遣について

総務省自治行政局公務員部公務員課応援派遣室 課長補佐 小比類巻 啓吾 氏

「応急対策職員派遣制度」の概要を説明していただきます。

12:50～17:00

講義／意見交換 大規模災害時の地方公共団体からの応援職員の派遣について

三重県いなべ市防災課 課長補佐 大月 浩靖 氏

総務省災害マネジメント総括支援員の立場から、被災地の状況や活動内容などについて、受講者同士の意見交換も交えながらお話しいただきます。

(一財)消防防災科学センター 黒田 洋司 氏に1日ご指導いただきます。

9:25～12:00

演習 災害対策本部の運営～図上シミュレーション訓練に向けて～

災害発生後の災害対策本部の運営と教訓についてお話しいただき、午後の「図上シミュレーション訓練」に向けて概要を説明していただきます。

13:00～15:35

演習 災害対策本部の運営～図上シミュレーション訓練～

図上シミュレーション訓練により、災害発生直後の災害対策本部の状況を疑似体験し、災害時の対応能力向上を目指します。

15:50～17:00

まとめ 災害対策本部の運営～図上シミュレーション訓練～

演習をふりかえり、災害対策本部の運営について総括していただきます。

9:00～10:35

講義 災害発生時の市町村に求められる役割 (特非)長野県NPOセンター事務局次長 長野県災害時支援ネットワーク担当 古越 武彦 氏
市町村職員の災害対応と役割、被災者支援の重要性等について、様々な団体との連携や災害実例をもとにお話しいただきます。

10:50～12:00

事例紹介 災害支援の実際～避難所運営を中心に～

(一社)ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 氏

コーディネーター:(特非)長野県NPOセンター事務局次長 長野県災害時支援ネットワーク担当 古越 武彦 氏

全国各地の被災地で様々な災害支援や避難所運営などに携わってこられた立場から、災害時に市町村がやるべきことや配慮・工夫点などをお話しいただきます。

13:00～14:10

事例紹介 災害支援の実際～車中泊避難者への支援～ 株式会社Bosai Tech 代表取締役社長 大塚 和典 氏

コーディネーター:(特非)長野県NPOセンター事務局次長 長野県災害時支援ネットワーク担当 古越 武彦 氏

災害時の避難方法としての「車中泊避難」を、より安全な手段として推奨できるよう各地で活動をされている立場から、さまざまな団体との連携の重要性や災害時に市町村がやるべきことなどをお話しいただきます。

14:25～15:35

質疑応答／意見交換

(一社)ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター 辛嶋 友香里 氏

株式会社Bosai Tech 代表取締役社長 大塚 和典 氏

コーディネーター:(特非)長野県NPOセンター事務局次長 長野県災害時支援ネットワーク担当 古越 武彦 氏

事例紹介でお話しいただいた両氏との意見交換、質疑応答により、市町村の災害対応について、更に理解を深めます。

15:50～17:00

演習 災害発生時の市町村に求められる役割

(特非)長野県NPOセンター事務局次長 長野県災害時支援ネットワーク担当 古越 武彦 氏

これまでの学びを整理し、各自治体での災害対応時に生じる課題とその解決策について考えます。

9:25～12:00

演習 災害発生時の市町村に求められる役割

(特非)長野県NPOセンター事務局次長 長野県災害時支援ネットワーク担当 古越 武彦 氏

前日に引き続き、各自治体での災害対応時に生じる課題とその解決策について考えます。

13:00～14:10

総括講義

(特非)長野県NPOセンター事務局次長 長野県災害時支援ネットワーク担当 古越 武彦 氏

5日間の研修のまとめとして、研修全体の総括をしていただきます。

14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

令和8年

1月
28日(水)

令和8年

1月
29日(木)

令和8年

1月
30日(金)